

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
電気・電子科 電気工事コース											
テクノロジー実習											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	畑野広行、萩原重行、阿部雅彦、長澤正明、計良信和			実務経験	有	職種	電気技術者				
授業概要											
電子・電気に関する基礎技術を実習を通して学ぶ。											
到達目標											
第二種電気工事士試験（国家試験）に合格するレベルの知識と技術は勿論の事、実現場で即戦力として活躍する事の出来る技能を習得する事を目標とする。											
授業方法											
基本的には配布資料をもとに実習を進める。課題について説明すると共に、材料や工具の取り扱い上の注意点を理解させる。また、怪我をしないように安全作業に気を配らせる。質疑応答は随時受け付ける。											
成績評価方法											
試験・課題：60％試験と課題を総合的に評価する。小テスト：20％授業内容の理解度を確認するために中間試験を実施する。平常点：20％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。遅刻、欠席、作業態度不良、課題の欠陥項目とその数についても評価の対象とする。実習後の清掃及び整理整頓についても評価の対象とする。											
教科書教材											
電気設備技術基準・解釈／自作プリント											
回数	授業計画										
第1回	安全作業法、実習をする際のルール等について理解する										
第2回	器具未使用の接続課題を完成する事が出来る										
第3回	器具未使用の接続課題を完成する事が出来る										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
電気・電子科 電気工事コース	
テクノロジー実習	
第4回	器具使用の接続課題を完成する事が出来る
第5回	器具使用の接続課題を完成する事が出来る
第6回	電線接続の応用課題を完成する事が出来る
第7回	コード・キャブタイヤケーブル類の端末処理をする事が出来る
第8回	回路計の製作をする事が出来る
第9回	回路計の校正・測定方法を理解する事が出来る
第10回	シーケンス制御の基礎を理解し課題を完成する事が出来る
第11回	主回路及びランプ回路の課題を完成する事が出来る
第12回	自己保持回路の課題を完成する事が出来る
第13回	動作優先回路の課題を完成する事が出来る
第14回	THRを使用した回路の課題を完成する事が出来る
第15回	寸動回路の課題を完成する事が出来る